



ゲノム解析は「私」の世界をどう変えるのか?: 生命科学のテクノロジーによって生まれうる未来

高橋祥子[著]. -- ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2017.

ISBN: 9784799321676

REVIEWER

医学部 人間健康科学科 4回生

この本を読んだあと「私」の世界はどう変わったのか

「ゲノム」、「遺伝」、「Precision Medicine」って言葉をよく聞くようになった、テクノロジーがものすごいスピードで発展しているのもなんとなく感じる、でもこの先なにがどう変わっていくのかよくわからなくて不安だ……そう感じている方はいませんか。

この本は、身近なゲノムに関する話題、例えばダイエットや遺伝子組み換え作物などの例を用いてテクノロジーと社会との関係やこれからの流れについて著者の考えが述べられています。医療に関する話ばかりではありませんが、この本に書かれている内容について医療に携わるわたしたちが知って理解し、患者さんや地域の方など必要とされる方に適切な医療やサービスを届けていくためにどれも必要なことなのではと思います。

また、この本の著者は京大出身で研究と実践の両輪で活躍されている方であり、医療の枠にとどまらず社会の視点から医療や研究について見つめる機会をもたらしてくれることと思います。

一般の人向けに書かれた本であるので、専門的な勉強をされている方には物足りないように感じられるかもしれません。だからこそ、この本をどのような位置づけとして手に取り、読み解くかはそれぞれの方次第でたくさんの可能性があると思います。特に第5章「生命科学の『流れ』を知れば『私』の世界と未来が見える」には「発展を続ける生命科学を有効に活用できる社会をつつていくためにはどのような心構えが必要か」という本書のエッセンスが詰まっているので、ぜひ読んでいただきたいです。この本を読む前にあったよくわからなかった不安は、きっと未来について積極的に知りわくわくする気持ちと自分に何ができるだろうとドキドキする気持ちに変わっていくことでしょう。

491

69

Ta 33

医図開架

(裏へ続きます)

⇒⇒⇒

この本が医療に関することを学ぶわたしたち個人の気づきにとどまらず、あらゆる分野の方やご家族やお友だちとのお話のきっかけになるといいなあと思います。

受理：2018-01-15